

徳島県子ども読書活動推進協議会

令和6年度 第3回協議会 資料集

議題1 「徳島県子ども読書活動推進計画（第5次推進計画）」
策定について

- ・資料1 「徳島県子ども読書活動推進計画（第5次推進計画）」
の策定について 1

別添資料 ※協議会当日配布
徳島県子ども読書活動推進計画（第5次推進計画）冊子

議題2 令和6年度「未来につなぐ読書推進事業」進捗状況に
ついて

- ・資料2 令和6年度「未来につなぐ読書推進事業」進捗状況・2
- ・資料3 徳島県中学生・高校生「書評合戦」事業報告 7
- ・資料4 読書推進のための取組報告要領について 8

資料1 「徳島県子どもの読書活動推進計画（第5次推進計画）」について

1 計画策定の趣旨

子どもの読書活動推進に関する法律に基づき、県の「推進計画」を策定し、子どもの読書活動推進に関する施策に取り組んできた。

国において令和5年3月に、第5次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されたことを受け、県においても、現行の第4次計画の成果と課題を踏まえ、今後の施策の方向性と具体的な取組を示すものとして「徳島県子どもの読書活動推進計画（第5次推進計画）」を策定する。

2 計画期間

令和6年10月から5年間

3 基本理念

○学校や家庭、地域の連携のもと県民総ぐるみで、子どもの自主的な読書活動の環境を整備

○すべての子どもが豊かな心をはぐくみ、生涯にわたり自ら学ぶことのできる力を育成

4 重点項目

I 子どもの読書習慣の形成に向けた取組の促進

- ・乳幼児期の読み聞かせ、学校での読書会や同世代が勧めるブックリストの活用など、発達段階に応じた読書活動の推進
- ・探究的な学習などでの学校図書館や公立図書館の活用促進

II 子どもの視点に立った読書活動の充実

- ・学校図書館運営への子どもの主体的参画の推進
- ・地域や図書館における子どもの意見を反映した読書イベントの充実

III 子どもの学びを支える読書環境の整備と連携体制の構築

- ・学校や図書館などでの電子書籍やバリアフリー図書の充実と利用の推進
- ・多様な背景を持つ子どもたちの読書環境の充実と読書機会の確保
- ・地域のボランティアや若者など読書活動の推進に携わる人材の育成

5 推進状況の把握 ※計画冊子P31～32参照

計画の進捗状況については、徳島県子どもの読書活動推進協議会に報告し、その意見等を踏まえて、計画の効果的な推進に努める。

資料2 令和6年度「未来につなぐ読書推進事業」進捗状況

(1) 高校生の読み聞かせボランティア養成講座

1 目的

公立図書館館長や大学教授、県内の読書団体を講師に迎え、「読み聞かせ」に必要な基本的知識や技術、「ボランティア活動の意義」について学ぶ。その後、学びの実践の場として、子ども食堂等において、読み聞かせボランティアとしての活動を展開する。

2 日時・場所・講師

【第1回・第2回】

日時：令和6年8月7日（水）・21日（水）13:20～16:30

場所：とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）アミコビル9階 大会議室
（徳島市寺島本町西1-5 TEL:088-625-3582）

講師：第1回 徳島市立図書館 館長 廣澤 貴理子 氏
第2回 徳島文理大学短期大学部 教授 児嶋 輝美 氏
とくしまお話を語る会 代表 中 洋子 氏（他7名）

【第3回】

日時：令和6年10月26日（土）9:00～13:00

場所：クレエール子ども食堂（徳島市万代町5丁目71-4）

3 参加生徒

【第1回・第2回】 高等学校、特別支援学校高等部の生徒 36名（15校）

【第3回】 高等学校、特別支援学校高等部の生徒 5名（4校）

4 講座の様子



・ 班ごとにアニメーションを考える



・ 「すてきなあまやどり」で記念撮影



・ 次の実践に向けての絵本選択



・ ボランティア活動の意義について



・ 音楽に合ながら読み聞かせ



・ お気に入りの一冊で読み聞かせ実演



・ 「仔牛の春」を子どもたちと一緒に



・ 「のはらうた」えほんクイズ



・ 子ども食堂のお手伝い

※生徒の感想より

- ・絵本にはそれぞれの良さがあって、言葉がない絵本や、歌がある絵本など、作者が一生懸命に考えた思いがあると思った。
- ・私自身、小さい頃あまり本を読んで貰ったことは無く、将来保育士、幼稚園教諭を目指しているため、自分の何かプラスになるのでは無いかと思い今日参加しました。読む人には色々な工夫があり、どんな気持ちで、どんな風に読んでいるのか少し分かった気がします。これから夢が実現出来たら、今日学んだことを活かしていきます。
- ・少し恥ずかしかったけど、読む側の気持ちが少しわかったし、これまで読み聞かせをしてくれた先生方が、どんなに工夫しているのか分かった気がします。聞く側もどうしたら相手に伝わるのか、聞き取りやすいのか考えて見てみたり、色々な視点で見たり出来て、新しい発見がありました。
- ・子どもたちと読んでいるのを想像して読むと、すごく楽しくてわくわくして待ち遠しくなった。

(2) 図書館サポーター養成講座

1 目的

学校図書館業務や子どもの読書活動推進に関する知識と技術を身につけた人材を育成し、学校や地域における子どもの読書環境の充実を図る。

養成した図書館サポーターが、各市町村の図書館サポーターやスクールサポートスタッフ、地域学校協働活動の支援員として活躍し、学校での居場所づくりに課題を感じている子どもに読書の機会をもたらすことを想定している。

2 講座内容

期間：全7日間（講義6日・実習1日）

場所：徳島県立総合教育センター（大研修室）

実習協力校（鳴門市大麻中学校、鳴門市撫養小学校、鳴門市林崎小学校）

受講者：31名

修了者：29名（令和2年度～令和5年度まで112名）

<内訳>徳島市7、鳴門市4、阿南市6、吉野川市3、阿波市1、板野郡4、名西郡2、勝浦郡1、三好郡1

3 講座の様子



・中学生の心理と読書



・百科事典の使い方



・イメージ・コラージュの進め方



・林崎小学校での実習



・大麻中学校での実習



・修了式

※受講生の感想より

- ・学校図書館には司書の配置が必要であることを知りませんでした。学校は他にも使命があるので、司書の必要性が後回しになってしまうのかと思いました。サポーターが増えることにより司書の負担軽減になり、現状が改善していくと良いと思いました。

- ・読解力と文章を書く技術について、読書感想文が自分の気持ちを言葉で表現することに関係している事に驚きました。書く事、話す事、読む事、読み取る力、どれもとても大事で繋がっている。国語の授業が情報処理というのにもびっくりしました。今の子どもたちは情報が溢れていて自分で正しく取捨選択できるようにならないといけないんだなと大変だなと思いました。
- ・特別な支援が必要な児童生徒の状態を実際に体験することで、困り方や困り具合について、身をもって知ることができました。読書という素晴らしい体験を、配慮により、色々な状況にある人にしてもらいたいと思いました。
- ・なぜ図書館サポーターの講座を受けようと思ったかなど、今まであまりお聞きできなかったことをお話することができました。皆さんそれぞれに、子どもたちの読書環境をよりよいものにするために何か力になりたいと熱い思いを持っていらっしゃる事が伝わりました。やはり地域によって、図書館の環境に大きな差があることは、早く解決しなければならない問題だと強く思いました。

(3) ブックキャンプin牟岐少年自然の家

1 目的

学校に通えない等の多様な背景をもつ子どもたちを対象に、読書に親しむ様々な機会を提供。

絵本の読み聞かせや絵本づくり、本にまつわる野外調理など、他の子どもとの本に由来した体験活動の共有による読書活動への意欲や関心の高まりと、読書を通じた子どもの心の居場所づくりを目的とする。

2 日時

令和6年12月15日（日）10：00～15：00

3 場所

牟岐少年自然の家 （海部郡牟岐町大字灘字東谷116-35）

4 内容(別添資料参照)

- ①絵本の読み聞かせ 講師：おはなしの会さざなみ
- ②野外クッキング 指導：牟岐少年自然の家スタッフ
- ③絵本づくり教室 講師：とも&ドラCo.

5 参加者

36名（小学生20名 中学生4名 未就学児1名 保護者・引率者11名）

※こどもの居場所に所属する児童・生徒など

6 講座の様子

①「おはなしの会さざなみ」による食べ物にまつわる絵本の読み聞かせ



②みんなで力を合わせてカレーライスづくり



③「とも & ドラCo.」と一緒に世界に一冊の絵本作り



※参加者の感想より

- ・新しいエプロンシアターに出会えて嬉しかったです。どの絵本も面白く、お腹がすいて、美味しくご飯が食べられました。
- ・小学生の時以来、読み聞かせを聞きました。手話や大きな絵本がとても良かったです。
- ・色々なお話を聞かせてくれてありがとうございました。良かったです。
- ・他の知らないお友達と協力して火起こししたり、カレーを作って楽しかった。
- ・食べる時間とお片付けの時間がもう少し欲しかったです。
- ・おなか空きすぎて、作るのが大変だったけど、食べる時がとても幸せでした。
- ・これから家で本を作りたいです。とても良かったです。
- ・短い時間で、ペースよく楽しく絵本を作れて、発表もできて良かったです。
- ・絵本づくりに悩んでいましたが、色々教えてくれて絵本も上手にできあがりしました。

(5) 街角ライブラリー

1 目的

子ども食堂や街中の飲食店内に「街角ライブラリー」を設置し、寄贈本を循環させ、人と本とをつなぐ仕組みを構築するとともに、貧困等の課題を抱える子どもの主体的な読書活動の支援を行う。

2 活動内容

委託先：NPO任意団体「まちライブラリー・ビブリアラボとくしま」
(代表：徳島大学 依岡隆児教授)

- 内容：①子ども食堂に寄贈本を配本（令和6年度はクレエール、ウッドアイビス）
②子どもたちにすすめる本のPOPコンテスト
③大学生・高校生がすすめるブックリスト作成
④野外読書大会

子どもたちにすすめる本のPOPコンテスト

- ・募集期間 令和6年9月17日（火）～10月28日（月）
- ・募集対象 中学校・中等教育学校・高等学校特別支援学校（中等部・高等部）の生徒、大学生
- ・応募総数 524点
(中学8校245点、高校10校257点、大学1校22点)
- ・審査結果 優秀賞4点、特別賞3点、子ども食堂賞2点、入賞25点（計34点）

【授賞式】

- 日 時：令和7年2月1日（土）13：30～15：00
場 所：クレエール子ども食堂（出席者：受賞者9名、引率10名 計19名）
次 第：(1) 開会のあいさつ
(2) 賞状授与
(3) 読書交流イベント
・自分のPOP作品の紹介
・みんなで本の木（ブックツリー）を作ろう！
(4) 記念撮影
(5) 閉会のあいさつ

※授賞式の様子



※優秀賞



高校生・大学生によるブックリスト作成プロジェクト

- ・ 期 間 令和6年10月～令和7年2月 第3土曜日 13:00～15:00
- ・ 場 所 シビックセンター、Parkみんなの図書室
- ・ 内 容 高校生と大学生が連携して、子どもに勧める本のブックリストを作成。月に1度のミーティングを実施し、各回のテーマを決めたうえで、子どもたちに勧める24冊の選書を行う。コメントを付けたうえで印刷してブックリストを作成し、高等学校や特別支援学校、大学図書館、公立図書館、書店に配布する。
- ・ 参加者 高校生8名（5校） 大学生6名

※ミーティングの様子



野外読書大会（読書ピクニック）

※徳島大学総合科学部創立150周年記念応援事業も兼ねる

- ・ 日 時 令和6年 9月28日（土）13:00～16:00
令和6年10月26日（土）13:00～16:00
令和6年11月 9日（土）13:00～16:00
- ・ 場 所 徳島大学総合科学部1号館園地
- ・ 対 象 小学生～大学生、保護者、学校関係者、図書館関係者等
- ・ 内 容
 - ① 読書ピクニック
展示された本で好きな本を借りて、好きな場所で読書。1時間後に再集合して、読んだ本の紹介をしあう。
 - ② 植本祭
参加者に、寄贈本を持参いただき、メッセージカードを書いて展示。
 - ③ 野外ビブリオバトル
大学生ビブリオバトルの全国大会予選。

《高校教育課作成》

徳島県中学生・高校生「書評合戦」～TOKUSHIMA BIBLIOBATTLE 2024～

- 1 目的 「徳島県子どもの読書活動推進計画」に基づき、ビブリオバトルをとおして読書活動の魅力を伝え合う。また、読書活動の充実へとつながる「おすすめ本」語り合い活動を普及させる機会とする。
- 2 日時 令和6年11月17日（日）12：30～16：40
開会式、予選・決勝戦、閉会式
- 3 場所 徳島県立総合教育センター（板野郡板野町犬伏字東谷1-7）
- 4 参加者 計93名
発表者 中学生6名／3校 高校生10名／7校
観戦者 学校関係者・保護者53名 一般・メディア4名
来賓・教育委員会20名
紹介本（一部）
『人間失格』『浜村渚の計算ノート』『午前0時の忘れもの』
『君のクイズ』『博士の愛した数式』『チーズはどこへ消えた？』
- 5 表彰等 【中学生の部】
徳島市国府中学校2年 碓井智治
『ぎんなみ商店街の事件簿 Brother 編 Sister 編』（井上真偽）
【高校生の部】
徳島県立川島高等学校2年 加藤千洋
『僕は上手にしゃべれない』（椎野直弥）
*各優勝者は、全国ビブリオバトル決勝大会に推薦。
中学生大会 令和7年3月9日（日）立命館大学衣笠キャンパス（京都府）
高校生大会 令和7年1月26日（日）よみうり大手町ホール（東京都）
（加藤さんは決勝大会で「ゲスト特別賞」受賞。）



《成果と課題》

- ・参加者数増のために、一般参加可に戻し、広報用チラシの作成、教育委員会 SNS での告知を行った。（前年度から約30名増）。
- ・発表者が近年やや少なめであるため、参加喚起の方策を引き続き検討したい。

徳島県子どもの読書活動推進計画〈第5次推進計画〉
読書活動推進のための取組報告要領
【小学校用】

- (1) 回答先
URL <https://forms.office.com/r/1rCU8DFJX>
〈二次元コード〉



- (2) 回答期間
令和7年1月27日(月)から
令和7年2月14日(金)まで
※締切厳守でお願いします

- (3) 回答項目【本年度の取組について】

※本校・分校は、集約して1校として回答してもよい。

- 問1 (必須) 学校名
問2 (必須) 回答者氏名
問3 (必須) 子どもの読書活動推進のために多様な取組を行っていますか。
下記の①～⑪から該当するものすべてを選び、お答えください。
- ① 学校や学級でのブックリストや推薦図書一覧の作成・学級文庫の設置、オススメの本の紹介等
 - ② 図書委員会による特色ある活動（イベントの実施や図書館環境整備等）
 - ③ 新聞スクラップ作成や新聞づくり、新聞の読み比べや授業での新聞活用等
 - ④ 家庭への読書啓発（家庭読書の日の設定や家庭での読み聞かせの実施、読書活動の推進等）
 - ⑤ 多様な読書活動の実施（一斉読書・朝の読書・読書会・ブックトーク・ビブリオバトル・味見読書等）
 - ⑥ 読み聞かせボランティア、地域人材等の活用
 - ⑦ 学校図書館等への新聞配置
 - ⑧ 公立図書館・図書館職員との連携・協力
 - ⑨ POPコンテストやビブリオバトル等の各種大会・コンクール、イベントや講習会等への参加
 - ⑩ 多様な子どもたちの読書機会の確保（読書バリアフリー等）
 - ⑪ 読書への関心を高める取組（多読賞の表彰や電子書籍の利用促進等）
- 問4 (任意) 上記の①～⑪以外や、上記とよく似た内容でも、何か特筆すべき取組があればお書きください。※自由記述
- 問5 (必須) 読書活動推進のため、児童・生徒の意見やアイデアを生かした取組を実施していますか。下記の①～⑤から該当するものすべてを選び、お答えください。
- ① 児童・生徒の意見を反映させた図書の展示やイベント等の実施
 - ② 児童・生徒による本の紹介や読み聞かせ等の実施
 - ③ 図書委員による「図書館だより」の発行やブックリスト、POP等の作成
 - ④ 図書委員による貸出や環境整備等の実施
 - ⑤ 新しい図書購入の選書会・アンケート等の実施

◎「読書の生活化プロジェクト」は、令和6年10月から「徳島県子どもの読書活動推進計画〈第5次推進計画〉」に移行しています。

徳島県子どもの読書活動推進計画〈第5次推進計画〉

読書活動推進のための取組報告要領

【中学校用】



- (1) 回答先
URL <https://forms.office.com/r/Ve4dJ5c8dM>
〈二次元コード〉

- (2) 回答期間
令和7年1月27日(月)から
令和7年2月14日(金)まで
※締切厳守でお願いします

※県立中学校・中等教育学校前期課程は、併設する高校・後期課程と内容をまとめ、【県立学校・市立高校用】へ回答する。

※本校・分校も、集約して1校として回答してもよい。

- (3) 回答項目【本年度の取組について】

問1 (必須) 学校名

問2 (必須) 回答者氏名

問3 (必須) 子どもの読書活動推進のために多様な取組を行っていますか。

下記の①～⑪から該当するものすべてを選び、お答えください。

- ① 学校や学級でのブックリストや推薦図書一覧の作成・学級文庫の設置、オススメの本の紹介等
- ② 図書委員会による特色ある活動（イベントの実施や図書館環境整備等）
- ③ 新聞スクラップ作成や新聞づくり、新聞の読み比べや授業での新聞活用等
- ④ 家庭への読書啓発（家庭読書の日の設定や家庭での読み聞かせの実施、読書活動の推進等）
- ⑤ 多様な読書活動の実施（一斉読書・朝の読書・読書会・ブックトーク・ビブリオバトル・味見読書等）
- ⑥ 読み聞かせボランティア、地域人材等の活用
- ⑦ 学校図書館等への新聞配置
- ⑧ 公立図書館・図書館職員との連携・協力
- ⑨ POPコンテストやビブリオバトル等の各種大会・コンクール、イベントや講習会等への参加
- ⑩ 多様な子どもたちの読書機会の確保（読書バリアフリー等）
- ⑪ 読書への関心を高める取組（多読賞の表彰や電子書籍の利用促進等）

問4 (任意) 上記の①～⑪以外や、上記とよく似た内容でも、何か特筆すべき取組があればお書きください。※自由記述

問5 (必須) 読書活動推進のため、児童・生徒の意見やアイデアを生かした取組を実施していますか。下記の①～⑤から該当するものすべてを選び、お答えください。

- ① 児童・生徒の意見を反映させた図書の展示やイベント等の実施
- ② 児童・生徒による本の紹介や読み聞かせ等の実施
- ③ 図書委員による「図書館だより」の発行やブックリスト、POP等の作成
- ④ 図書委員による貸出や環境整備等の実施
- ⑤ 新しい図書購入の選書会・アンケート等の実施

◎「読書の生活化プロジェクト」は、令和6年10月から「徳島県子どもの読書活動推進計画〈第5次推進計画〉」に移行しています。

徳島県子どもの読書活動推進計画〈第5次推進計画〉

読書活動推進のための取組報告要領

【県立学校・市立高校用】

- (1) 回答先
URL <https://forms.office.com/r/3J0PW3ydx>
〈二次元コード〉



- (2) 回答期間
令和7年1月27日(月)から
令和7年2月14日(金)まで
※締切厳守をお願いします

※県立中高・中等教育学校(前期後期課程)は、集約して【県立学校・市立高校用】へ回答する。

※本校・分校も、集約して1校として回答してもよい。

- (3) 回答項目【本年度の取組について】

問1 (必須) 学校名

問2 (必須) 回答者氏名

問3 (必須) 子どもの読書活動推進のために多様な取組を行っていますか。

下記の①～⑪から該当するものすべてを選び、お答えください。

- ① 学校や学級でのブックリストや推薦図書一覧の作成・学級文庫の設置、オススメの本の紹介等
- ② 図書委員会による特色ある活動(イベントの実施や図書館環境整備等)
- ③ 新聞スクラップ作成や新聞づくり、新聞の読み比べや授業での新聞活用等
- ④ 家庭への読書啓発(家庭読書の日の設定や家庭での読み聞かせの実施、読書活動の推進等)
- ⑤ 多様な読書活動の実施(一斉読書・朝の読書・読書会・ブックトーク・ビブリオバトル・味見読書等)
- ⑥ 読み聞かせボランティア、地域人材等の活用
- ⑦ 学校図書館等への新聞配置
- ⑧ 公立図書館・図書館職員との連携・協力
- ⑨ POPコンテストやビブリオバトル等の各種大会・コンクール、イベントや講習会等への参加
- ⑩ 多様な子どもたちの読書機会の確保(読書バリアフリー等)
- ⑪ 読書への関心を高める取組(多読賞の表彰や電子書籍の利用促進等)

問4 (任意) 上記の①～⑪以外や、上記とよく似た内容でも、何か特筆すべき取組があればお書きください。※自由記述

問5 (必須) 読書活動推進のため、児童・生徒の意見やアイデアを生かした取組を実施していますか。下記の①～⑤から該当するものすべてを選び、お答えください。

- ① 児童・生徒の意見を反映させた図書の展示やイベント等の実施
- ② 児童・生徒による本の紹介や読み聞かせ等の実施
- ③ 図書委員による「図書館だより」の発行やブックリスト、POP等の作成
- ④ 図書委員による貸出や環境整備等の実施
- ⑤ 新しい図書購入の選書会・アンケート等の実施

◎「読書の生活化プロジェクト」は、令和6年10月から「徳島県子どもの読書活動推進計画〈第5次推進計画〉」に移行しています。